

学年	1	科目:臨床実習 I PT	受講者数	32
学科	PT	教員:三田久載、大沼賢洋、臨床実習指導者	回答率	81%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
の I 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.5	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.4	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.5	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.3	4.4
め II 授業 の 進	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.5	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.5	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.5	4.4
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.5	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.5	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.5	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.5	4.4
III 評 価 の 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.5	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.5	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.3
の IV 取 あ 組 な み た	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.6	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.5	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.4	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.4	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	1
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	25

#### 自由記載

- ・ 支援システムの書き方をしっかりと教えて欲しい
- ・ レポートについてなのですが、指導者の先生は全部の項目のレポート記入すると時間がかかってしまい睡眠時間が確保できないのと、レポートの内容が一日の流れと実際にどのようなことを行ったのかなど内容が被ってしまうという理由で特定の2つを記入するという指示を頂いたのですが、その内容を自習担当の先生に伝えた際にオリエンテーションで全部記入と伝えたので記入していない部分に関しては減点すると言われたました。また、レポートの項目によってはその日に行わなかった内容のものも実際にあります。この場合、指導者様と実習担当の先生どちらの指示に従えばいいのでしょうか。また、実際にその日の実習で行わなかった項目のレポート記入についてはどうすればいいのでしょうか。

#### 担当教員からのコメント

臨床実習支援システムの説明は丁寧にしていけるよう努めます。

学年	1	科目:臨床実習 I OT	受講者数	25
学科	OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、学科教員	回答率	60%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
の I 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.8	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.8	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.7	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.8	4.4
の II 授業 め 方 の 進	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.7	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.7	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.7	4.4
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.7	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.3	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.4
の III 評 価 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.8	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.7	4.3
の IV 取 あ 組 な み た	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.9	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.8	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	1
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	1
特になし	13

自由記載

.

担当教員からのコメント

皆さんが大変意欲的に学んできたことがよくわかりました。  
今後もこのモチベーションを維持して頑張ってください。

学年	2	科目:臨床実習Ⅱ	受講者数	39
学科	PT	教員:三田久載、大沼賢洋、臨床実習指導者	回答率	97%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.6	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.6	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.6	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.6	4.4
Ⅱ 授業の 進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.8	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.7	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.7	4.4
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.8	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.4	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.7	4.4
Ⅲ 総 評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.8	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.8	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.7	4.3
のⅣ 取 組 な み	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.9	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	38

自由記載

担当教員からのコメント

今後もより良い実習となるよう努めます。

学年	3	科目:臨床実習Ⅳ	受講者数	42
学科	PT	教員:大沼賢洋、三田久載、森梢、白井英彬、望月里子、赤岩龍士	回答率	79%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.4	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.2	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.1	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.2	4.4
Ⅱ 授業の 進め方	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.5	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.4	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.5	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.5	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.3	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.3	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.4	4.4
Ⅲ 総 評価	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.5	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.5	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.3
のⅣ 取 組 み	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.8	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.7	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	1
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	1
指導者とのコミュニケーション	1
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	32

#### 自由記載

- ・ 現場でしたか得られない大きなこともたくさん学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・ なぜ中枢分野だけ事前勉強会をしたのか分かりません
- ・ 臨床実習指導者への説明をもっと学校の先生がしっかりと行うべきだ。  
こんな評価の仕方ではしっかりとした成績はつかないだろ。もっと平等になるように指導者そして実習先を決めて欲しい。

#### 担当教員からのコメント

初めての長期実習で、緊張したことと思います。  
また、患者さんに触れる機会が多くなり、様々な経験をしたことでしょう。  
学校で学んでいることがベースとなり、臨床実習に繋がります。  
この経験を次に活かすため、実技の練習・座学の勉強を頑張ってください。  
今後の成長を楽しみにしています。

学年	3	科目:臨床実習Ⅲ	受講者数	34
学科	OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、学科教員	回答率	56%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.7	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.4	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.4	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.0	4.4
Ⅱ 授業の め方 の進	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.7	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.3	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.3	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.5	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.2	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.4	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.3	4.4
Ⅲ 評 価 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.5	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.5	4.3
のⅣ 取 あ 組 な み た	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.7	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.7	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.6	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.6	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	1
実習の進行速度	1
関連する情報や話題の提供	1
指導者とのコミュニケーション	1
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	1
控室など施設環境条件	2
特になし	17

#### 自由記載

- ・ バイザーの先生の説明で理解できないことが多く、聞き直したり確認することが多かった。  
私の疑問点を理解してもらえていないことや、相手の意図を汲み取れないことがたくさんあり苦戦した。
- ・ ケースノートポートフォリオとして提出したいです。

#### 担当教員からのコメント

実習施設によって体験できる内容や教授方法が異なるところがあると思いますがそれぞれの環境で多くを学んできたと思います。  
最後の長期実習に向けて、達成したい課題を振り返っておいてください。

学年	4	科目:臨床実習Ⅴ	受講者数	29
学科	OT	教員:臨床実習教育者、市村紋子(実習調整担当者)、学科教員	回答率	79%

	設問番号	設問文	平均	全体平均
のⅠ 内容	(1)	臨床実習の目的・目標が明示されていた。	4.8	4.5
	(2)	実習はオリエンテーションやシラバスにのっとり展開されていた。	4.8	4.5
	(3)	実習の目的・目標から見て実習の難易度は適切だった。	4.9	4.4
	(4)	指導者からの与えられた課題(宿題・レポート)は、質・量ともに適切であった。	4.9	4.4
Ⅱ 授業の め方 の進	(5)	指導者は実習の開始・終了時刻を守ろうとしていた。	4.9	4.5
	(6)	毎回の指導の量や進める速度は適切であった。	4.8	4.4
	(7)	指導者は学生の理解度や到達度に留意し工夫されていた。	4.7	4.3
	(8)	指導者の臨床(仕事)に対する熱意が感じられた。	4.8	4.5
	(9)	指導者から役に立つ教科書、教材、資料の提供があった。	4.5	4.4
	(10)	指導者の話し方は明瞭で聞き取りやすかった	4.7	4.4
	(11)	指導者は質問、提出物に対しての対応は適切であった。	4.6	4.4
Ⅲ 評 価 合	(12)	この実習を受けて知識が深まり、あるいは能力が高まった。	4.7	4.4
	(13)	この実習を受けてもっと勉強したいという気持ちになった。	4.6	4.3
	(14)	この実習を受けて実習で経験した分野に対する興味・関心が増した。	4.7	4.3
のⅣ 取 あ 組 な み た	(15)	あなたはこの実習を遅刻や欠席をしないように努めた。	4.8	4.6
	(16)	あなたはこの実習を、意欲を持って受講した。	4.8	4.5
	(17)	あなたは質問したり疑問点を、必要に応じて指導者に質問した。	4.7	4.1
	(18)	あなたはこの実習の予習・復習に努めた。	4.7	4.2

改善要望	選択者数
話し方、声量	0
課題の質・量	0
実習の進行速度	0
関連する情報や話題の提供	0
指導者とのコミュニケーション	0
実習生同士のコミュニケーション	0
教科書、教材、資料の選定	0
控室など施設環境条件	0
特になし	23

#### 自由記載

- この時期にこの実習を行うメリットは理解できますが、卒業試験前の貴重な時期に国試勉強から離れるのはデメリットの方が大きいと思いました。その後のスケジュールがとてもきついです。

#### 担当教員からのコメント

国家試験準備を開始する時期にあたると思いますが  
最終学年として習得すべき重要な知識、技術になります。  
臨床家になることをイメージした学びにつながることを期待します。